Hyuga City Public Relations

広報ひゅうが

2013
9
No.700
平成25年9月1日発行

特集　新庁舎建設の基本構想

Contents

・10月から子ども医療費助成制度スタート
・「広報ひゅうが」創刊700号
・写真で見る第30回日向ひょっとこ夏祭り

優しく 強く 温かい 新庁舎の建設に向けて
「日向市庁舎建設基本構想」を策定

市庁舎は、災害発生時の対策本部としての機能はもとより、被災後の住民生活や街全体の復旧・復興に必要な行政機能の維持・確保といった重要な役割を担っています。

しかしながら、本市の庁舎は、建設から50年近くが経過し、老朽化に加え耐震性にも大きな問題を抱えています。このため、市では庁舎の建替により抜本的な安全対策を講じることとしました。

今回策定した「新庁舎建設基本構想」は、有識者や市民代表らでつくる「新庁舎建設市民懇話会」での協議や、7月上旬に実施した市民説明会で出された意見を踏まえて取りまとめたもので、新庁舎建設の基本的な考え方や庁舎の規模、建設場所、概算事業費などを明らかにするものです。

新庁舎建設の必要性

現在の市庁舎は老朽化に加え耐震性にも大きな問題を抱えており、防災拠点施設としての早急な整備が求められています。また、庁舎内が分かりづらく、バリアフリーの観点からも課題があるなど、利便性や市民サービス上の問題も抱えています。

さらに、新庁舎建設の財源として想定している合併特例債の活用期限が平成32年度までとされているため、財政的な面からも速やかな事業進捗が求められます（合併特例債は、返済する元金と利息の70％が国から地方交付税で措置される有利な市債（借金）です）。

新庁舎建設市民懇話会の様子

～新庁舎建設キャッチフレーズ～
“市民が奏でる交響空間 優しく 強く 温かい 庁舎”と6つの基本方針

防災の拠点施設となる「安全・安心な庁舎」

来庁者の安全はもとより、災害発生時には、市民の生命と財産を守るための「司令塔」として、復旧、復興に欠かせない行政機能を維持・確保することのできる「安全・安心な庁舎」を目指します。

環境共生に取り組む「地球環境に優しい庁舎」

再生可能エネルギーや省エネルギーシステムを積極的に導入し、「地球環境に優しい庁舎」を目指します。

ユニバーサルデザインを取り入れた「人に優しい庁舎」

障がいのある人や高齢者、小さな子ども連れの人など、誰もが安全で安心して利用することのできる「人に優しい庁舎」を目指します。

協働のまちづくりの拠点となる「市民に親しまれる庁舎」

市民が気軽に集い、交流できるスペースの確保などにより、市民との協働のまちづくりの拠点施設として「市民に親しまれる庁舎」を目指します。

市民サービスの向上を実現する庁舎

窓口の集約化や事務の効率化をはじめ、案内体制、相談体制等の充実を図り、「利用しやすく利便性の高い庁舎」を目指します。

日向市の地域性を生かし、「周辺環境と調和した庁舎」

耳川流域の森林資源をはじめとした地域資源の活用を図り、新庁舎周辺の特性に配慮することで「周辺環境と調和した庁舎」を目指します。

建設計画に関する考え方

●新庁舎の規模

新庁舎の規模は、国の基準により算出した面積に、防災、協働機能などを考慮し、総延床面積を1万2千平方メートル程度とします。

●新庁舎の建設場所

新庁舎は、利便性や、街なかの都市機能などとの連携を考慮し、現在の場所へ建て替えることとします。なお、現在の場所は、県の津波浸水想定において30㎝未満の浸水が想定されているため、十分な浸水対策を施します。

●新庁舎の配置と構造

新庁舎の配置は、市民の利便性や周辺のまちづくり事業などを考慮して決定します。駐車場や緑地をできる限り広くするため、新庁舎は地上6階建程度とし、南海トラフ巨大地震を想定した強固な構造とします。

事業計画に関する考え方

●事業費・財源の検討

他の自治体の事例を参考に、新庁舎建設事業費の上限額を45億円と設定し、今後、可能な限り節減に努めていきます。

財源は、合併特例債と市の貯金である基金を活用しますが、防災面や環境面での補助事業の活用なども検討し、市の負担軽減に努めます。

●事業者選定の考え方

事業者の選定については、公平性、透明性、客観性が確保される最善の方法を採用します。なお、新庁舎建設に伴う地元経済への波及効果を促進する方策についても事業者選定手法と併せて検討します。

今後の予定

新庁舎の供用開始は、最短で平成30年の1月を想定しています。さまざまな要因により整備が遅れることも想定されますが、合併特例債（財源としては現在最も有利な借入金・起債）の活用期限である平成32年度までには事業を完了します。

新庁舎建設事業については、今後も、市民の皆さんに随時情報を提供し、ご意見、ご提言を反映させながら推進していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

問企画情報課新庁舎建設準備室（☎内線2214）

年度	スケジュール
H25	基本構想 基本計画
H26	基本設計
H27	実施設計
H28	建設工事
H29	建設工事
H30	建設工事 H30年1月 供用開始 現庁舎取壊

新庁舎建設Q&A

説明会で交わされた質疑応答をQ&A形式でまとめました。

Q 大きなお金をかけて新庁舎を建設するより、耐震補強を施せば良いのでは?

A 耐震補強は耐震性を高めるための工事であり、建物自体の耐用年数を延ばすものではありません。このため、耐震補強を施したとしても近い将来に建て替えが必要になるため、中長期的な経済面で見ると課題があります。

Q 市の財政は厳しいと言いながら、なぜ今、庁舎建設なのですか?

A 庁舎の建設には、国、県の補助や、有利な借入金の制度はありませんが、本市の場合は平成32年度までに限り、返済額の70％が地方交付税で措置される合併特例債が活用できます。このため、その期限内に庁舎建設を行うことが財政的にも有利であり、逆にこの時期を過ぎてしまうと改修工事なども厳しくなります。

Q 国の財政が厳しい中、合併特例債や地方交付税に頼るのは危険ではないですか?

A 市の収入のうち、市税などの自主財源は35％程度で、それ以外は国、県の補助金や地方交付税などに頼っています。このような状況においては、国などの有利な制度を効率よく活用することも大切なことだと考えます。なお、合併特例債に対する交付税措置は法律に基づく制度で、返済する元金と利息の70％が地方交付税の算定に積算される仕組みになっています。

Q 本庁舎に大きなお金をかけるのではなく、支所や公民館などの既存施設を活用した分散型の庁舎にすれば良いのでは?

A 本市のような小さな自治体では職員数も限られており、支所が本庁舎と同様の機能を担うことは現実的に困難で効率性の面からも課題があります。また、業務内容で庁舎を分散する方式も考えられますが、それでは市民の皆さんの利便性の面で課題があります。なお、支所や公民館については、それぞれの地域のまちづくりなどの拠点施設として重要な役割を担っていますので、今後とも計画的に整備を進めていきます。

※基本構想の詳細は市ホームページに掲載しています。http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/office/tyosyaseibi/

子育て支援

10月から、小学生まで対象を拡大「子ども医療費助成制度」が始まります

市は、子育て中の家庭を支援する制度の一つとして、未就学の子どもの医療費を1診療ごとの自己負担額を月350円までとする、乳幼児医療費の助成を行ってきました。

10月1日の診療分から、助成事業の対象者を「小学校卒業まで」の子どもに拡大し、医療費の負担を軽減することで子育てを支援します。それに伴い、「乳幼児医療費助成制度」は「子ども医療費助成制度」に名称変更します。

	改正前	改正後
対象年齢	小学校就学前まで	小学校卒業まで
自己負担額	入院・入院外とも月額350円	

新たに助成制度の対象となる人

10月1日現在の、小学1年生から6年生までの子ども。申請などは特に必要ありません。

現在の助成制度の対象となっている人

10月1日からは「子ども医療費助成制度」に移行しますので「受給資格証」を送付します。申請などは特に必要ありません。

※注意

新しい受給資格証は9月末までに郵送しますが、10月1日からしか使用できません。

10月1日以降に、**新しく対象となる人、再発行や内容変更などは届け出が必要**になります。こども課窓口で手続きしてください。

問こども課こども福祉係（☎内線2364）

◉子ども医療費助成制度の内容（内容は乳幼児医療費助成制度と同じです）

■県内で受診した場合

自己負担額	受診医療機関ごとに月350円。ただし調剤薬局は自己負担なし。
支払方法	受診した医療機関の窓口で、健康保険証と「子ども医療費受給資格証」を提出して350円を支払う。

※入院と入院外はそれぞれ350円の負担。
※同一医療機関で複数の診療科を受診した場合は、診療科ごとに350円の負担。
※保険適用外の医療費は助成の対象外。

■県外で受診した場合

申請方法	受診した医療機関の領収書原本（証明印と点数の記載があるもの）を、子ども医療費助成申請書に添付してこども課に提出。
申請期間	診療・調剤を受けた翌月から1年以内に申請。
支給日	申請した翌月の20日（金融機関休業日の場合は前日）に保護者名義の口座に振り込み。

※保険適用外の医療費は助成の対象外。
※高額療養費・付加給付などがある場合は、その額を差し引いて助成。
※助成金の支給には内容確認のため日数がかかります。

僕たち、私たちも対象になります！

創刊700号

「広報ひゅうが」は創刊700号を迎えました

昭和26年4月に日向市制が施行され、4年後の昭和30年9月に広報ひゅうが第1号が創刊されました。それから昭和38年9月に100号、昭和47年1月に200号と順調に発行を重ね、平成17年5月に600号に達しました。

その後、平成18年2月に東郷町と合併し、広報ひゅうがに東郷町域の話題が取り上げられるようになり、平成20年6月号からは「ひゅうが」の題字が歌人若山牧水の遺墨（いぼく）（筆跡）による文字となりました。

また、日向市制施行60周年記念事業の一つとして、平成23年11月に「広報ひゅうが」、平成25年6月には「町報とうごう」のデジタルアーカイブ（電子書籍化）が完了し、インターネットを利用すれば、いつでも、過去の広報紙がパソコンなどから閲覧できるようになりました。

そして今回、平成25年9月号で700回目の発行を迎えました。

市とともにさまざまな変遷を歩んできた「広報ひゅうが」は、行政からのお知らせや、まちの出来事を発信する身近な冊子として、また、まちの活動を記録する思いでのアルバムとして、今後も皆さんに親しまれる話題をお届けします。

不足している広報を探しています。

「広報ひゅうが」、「町報とうごう」

「広報ひゅうが」は昭和38年1月の庁舎火災で原本を焼失するなどし、全ての広報が揃っていません。「町報とうごう」も同様に不足があります。もし本号をお持ちの人がいましたら、ぜひ情報提供をお願いします。

問総務課秘書広報係（☎内線2235）
E-MAIL public@hyugacity.jp

下記の号を探しています

「町報とうごう」
- 昭和29年 3月（27号）
- 昭和30年 3月（39号）
- 昭和43年 9月（206号）
- 昭和54年12月（343号）

「広報ひゅうが」
- 昭和30年9月（1号）～12月（4号）
- 昭和31年1月（5号）～8月（12号）
- 昭和32年3月（19号）
- 昭和33年4月（33号）、8月（37号）10月（39号）、11月（40号）
- 昭和34年1月（42号）、3月（44号）5月（46号）
- 昭和35年9月（65号）
- 昭和36年4月（72号）、9月（77号）
- 昭和42年8月（147号）

きろくを語る ～広報紙へひとこと～

◉貴重な町報を寄贈いただきました

山田典夫（のりお）さん（85歳・坪谷）

「町報とうごう」は、東郷町史の編さんに携わったこともあり、地域の文化を残したいという思いで、たまに陰干しするなど長年大切に保管していました。知り合いがでている号などを読み返したりと、昔を懐かしむ楽しみもありますね。多くの人に見てもらえればきちんと保存していたかいもあります。また、電子書籍化すれば場所も取らず、貴重な資料も劣化しないのでいいですね。

◉「広報紙」を「音声」へ、「点字」へ

音訳・点訳ひゅうが虹の会
代表 村上喜美子さん（写真・前列右から2番目）

広報ひゅうがを音訳・点訳して10年以上になります。広報を楽しみにしている障がいのある方へ、いち早く正確な情報を伝えるために日々努力しています。広報はデザインなどの見た目も大事ですが、読みやすく、理解しやすい記事を心掛けてほしいと思います。

「広報ひゅうが」は、自治会（区）をとおして配布しています。自治会への加入については、住んでいる地区の区長さんか近くに住む班長さん、または市民協働課（☎内線6254）まで問い合わせてください。
「広報ひゅうが」は市のホームページに掲載しているほか、下記の窓口などにも置いています。
【設置場所】 市役所、支所、公民館などの市の関係機関ほか

日向市「青の国大賞」決まる

今後も日向の発展にご尽力を ――

市制施行60周年を契機として平成23年度に創設した日向市「青の国大賞」。平成25年度の青の国大賞事業の顕彰者、受賞理由は次のとおりです。

青の国「優秀賞」（個人）

松木政司さん（71歳・塩見）

▼長年にわたり塩見サッカースポーツ少年団の監督・総監督として、サッカー競技の振興はもとより、青少年の健全育成に携わっている。教え子からは、スポーツ界で実績を残している人や、地元で、消防団やPTA、塩見まちづくり協議会などで活躍している人なども多い。

最近では、児童の放課後活動を支援する「放課後こども教室」の安全管理員として活動し、また、自費で畑づくりや陶芸教室を行い、青少年の健全育成に努めるなど、塩見地区の「まちづくり」・「人づくり」に尽力している。

青の国「奨励賞」（個人）

三浦要子さん（61歳・北町）

▼国内外の数々のコンテストで実績を残し、その技術や経験を生かして、理美容総合訓練校などを通して後進の指導・育成にあたっている。

教え子には、県内外のコンテストなどで優秀な成績を収めた人も多い。また、「ハートフル美容師」の資格取得や、「認知症に優しいお店」宮崎県第1号店に認定されるなど、高齢者や障がいのある人にやさしい店づくりに努めている。

7月26日㈮に市長室で顕彰式があり、お二人には賞状と副賞が贈られました。黒木市長は「お二人の長年のご功労に感謝します。これからも市の発展に尽くしてください。」と述べ、これまでの労をねぎらいました。

問総務課総務係（☎内線2223）

▲写真左から、三浦要子さん、黒木市長、松木政司さん

戦争や核兵器のない平和な未来へ

平和都市「長崎」へ、今年も中学生７人を派遣 ――

市は毎年、戦争や核兵器のない平和な未来を築こうという心を育んでもらおうと、原爆投下の地である長崎市に中学生を派遣しています。

今年も7人の中学生が、8月7日から4日間の行程で全国から集った青少年や、長崎市のボランティアと交流を深める「青少年ピースフォーラム」に参加しました。また、平和祈念式典に参列し、被爆者の体験談や平和に関する講話などを聞いて、平和な未来の実現について考える貴重な体験をしました。

参加した松田ひなさん（大王谷学園中等部2年）からは「県外の生徒との交流など、貴重な経験ができました。原爆による実際の被害の様子を知って、核兵器は無くさなければならない、二度と戦争をしてはならないと思いました。今回、平和について学んだことをまわりにも伝えていきたい。」と感想を話しました。また、市役所ロビーと市立図書館の2か所で「原爆写真パネル展」が開かれ、原爆の悲惨さ、平和の尊さを写真とポスターに収めた展示を行いました。同所に置かれた「核兵器廃止」を訴える署名にはたくさんの市民の皆さんから署名が寄せられました

問総務課総務係（☎内線2223）

▲長崎市平和公園で８月９日にあった平和祈念式典終了後、ブロンズ像のまえで記念撮影。

▲市庁舎ロビーに設置された原爆写真パネル展。たくさんの人が足を止めて見入っていました。

東郷町域に同報系防災行政無線配備

南海トラフ巨大地震に備えて津波監視カメラも設置 ――

市は、平成23年度に市全域のデジタル方式の同報系防災行政無線の整備計画を策定しました。そして、平成24・25年度の2か年計画で、災害などの有事の際の情報伝達システムの強化・拡充を目的として、同報系防災行政無線の整備事業を進めています。

平成24年度から、未整備地区であった東郷町域を中心に整備工事を進め、このたび完成しました。

工事の主な内容は、市役所内にデジタル操作卓の設置、東郷町域16カ所に屋外スピーカー局の設置、区長宅や公共施設等50か所に戸別受信機を設置しました。あわせて、日向灘を中心とした巨大地震を想定し、米の山展望所に津波監視カメラを設置しました。

東郷町域の同報系防災行政無線については、主に風水害、土砂災害などの自然災害から人的被害を未然に防止し、情報伝達の基幹施設として今後活用していきます。

問防災推進課防災施設係（☎内線2228）

▲戸別受信機により、区長宅や学校などへは直接情報提供を行っています。

▲米の山展望所にある津波監視カメラ。市役所からズームなどの遠隔操作が可能。

細島獲れイワガキを新ブランドに

へべすとの相性バツグン、ぷりぷりのイワガキ ――

市は、管内の漁業協同組合とともに、県東臼杵農林振興局の支援を受け、平成23年度から2年間「イワガキ」の試験的養殖に取り組んできました。今年3月には約0・7トンを生産・販売し、養殖事業としてのノウハウを確立しています。

イワガキはマガキと違い、夏が旬で「夏ガキ」とも言われ、水温が高くても成長します。細島湾は海流があり、水深も深く、イワガキの養殖環境として適しているため養殖が試みられました。

7月30日㈫には日向市漁協で、市内の飲食店関係者や、報道各社を集めた試食会が開かれました。同じく旬の日向特産「へべす」とともに獲れたてのイワガキを味わい、参加者からは「まろやか」、「おいしい」と大好評でした。

9月から漁業権を設定し、養殖への取り組みを漁業者に呼びかけ、生産量の安定供給と増大を図り、「日向市ならでは」のブランド化を目指します。

問農業水産課水産振興係（☎内線2314）

▲日向の新たなブランドを目指し取り組んでいます。

▲大きくてぷりぷりの身と濃厚な味わいのイワガキ

ミニ文鎮作りは、機械科の生徒が、加工に使う精密機器の操作方法を児童らに丁寧に教えていました。児童らは緊張した面持ちで機械を操作していました。

まちの話題 *Hyuga Times*

ーワクワクをカタチにー

わくわくものづくり教室

8月9日(金)、市は市内小中学生を対象に日向工業高等学校で、今年初めて「わくわくものづくり教室」を開催しました。参加した児童生徒23人は、ボランティアの日向工業の生徒に手伝ってもらいながら、ミニ文鎮と本立て作りに挑み、ものづくりのおもしろさや楽しさを体験しました。

本立て作りでは、初めてノコギリやドリルを使う児童と、建築科の生徒が一緒になって作業をしました。出来上がり後に児童らは、「最初は難しくて不安だったけど、作業をするうちに楽しくなった、また参加したい。」と作品を手に笑顔で感想を話してくれました。

広域情報掲示板

日向市 おきよ祭り

日向市南部の、美々津町・立縫地区に伝わる「おきよ祭り」。

伝説では、神武天皇の御東征の日程が早まり、さらに、出発が早朝になったため、町の人々が、お舟出を知らせるため「おきよ、おきよ」と言って、家々の木戸を叩き、起こして回ったという話に由来します。

毎年旧暦の8月1日の早朝に行われており、今年も、9月5日の午前4時から、美々津の立磐神社周辺で開催されます。

古事記編纂1300年、神武天皇御東征の地の伝統あるこの祭を、ぜひ一度ご覧になってください。

問 観光振興課観光振興係
☎52・2111
FAX54・5269

TOPICS

まちの話題をお届けします

市区長公民館長連合会が新メンバーに

地域の絆をつなぐ要(かなめ)として

7月の役員改選後の新たな市区長公民館長連合会の役員が市長室を訪れました。新会長に蝶野毅(ちょうのつよし)さん(松原区長・左から2番目)、副会長は甲斐康男(やすお)さん(別府区長・右から2番目)、黒木勇(いさむ)さん(堀一方区長・写真左)、書記は沖田貫美(じつみ)さん(山下区長・写真右)、会計は川越洋さん(仲深区長)。新役員は区の加入の促進や、市との連絡体制などについて市長と意見交換しました。

全国の舞台へ、富高ヴォルテックス

ドッジボールで全国へ

富高小の児童らでつくるドッジボールチーム「富高ヴォルテックス」(19人)が、6月に行われた県予選でみごと優勝しました。8月25日㈰に東京で開かれる第23回全日本ドッジボール選手権全国大会に県代表として、創設して4年目にして初出場します。キャプテンの飯沼啓将さん(富小6年)は「アタックやチームワークに磨きをかけ、全国に挑みたい」と意気込みました。

市の観光の一役を、ひまわりレディ

新たなひまわりの制服で

2013日向ひまわりレディが決まりました。写真左から、金村麻紀さん(29歳)、田原亜里沙さん(24歳)、押川綾夏さん(22歳)。金村さんは「この機会に日向市の知識を深めたい。」、2年目の田原さんは「今年も笑顔で全力でがんばる。」、押川さんは「一人でも多くの人に日向市を知ってもらいたい。」とそれぞれの抱負を述べました。来年7月までの1年間、市の魅力をピーアールします。

高千穂の神々も日向に来て大笑い?

お笑い発祥の地に集う

第五回ひむかの国こども落語大会が7月27㈯・28日㈰、市文化交流センターで開かれ、20都府県から48人の子ども落語家がお笑い発祥の地へ集結。子どもたちの巧みな落語で、会場は大きな笑いの渦に包まれました。最優秀賞は小学生の部＝山田達也さん(大分市)、中高生の部＝秋月大誠さん(大阪市)。地元からは宮本沙暉さん(高1)と松岡光一朗さん(小4)が優秀賞を獲得しました。

コミュニティ放送局エフエムひゅうが

開局への準備に入ります

延岡市のケーブルメディアワイワイがコミュニティ放送局「エフエムひゅうが」の開局準備を進めています。7月23日には国から予備免許が交付され、県内では4局目の12月1日の放送開始を目指します。対象のエリアは日向・門川の約2万5千世帯で、スタジオを日向局内に置き、24時間放送を予定。地域に密着したまちの情報や災害時の防災情報発信が期待されます。

若者の勇気ある行動が尊い命を救う

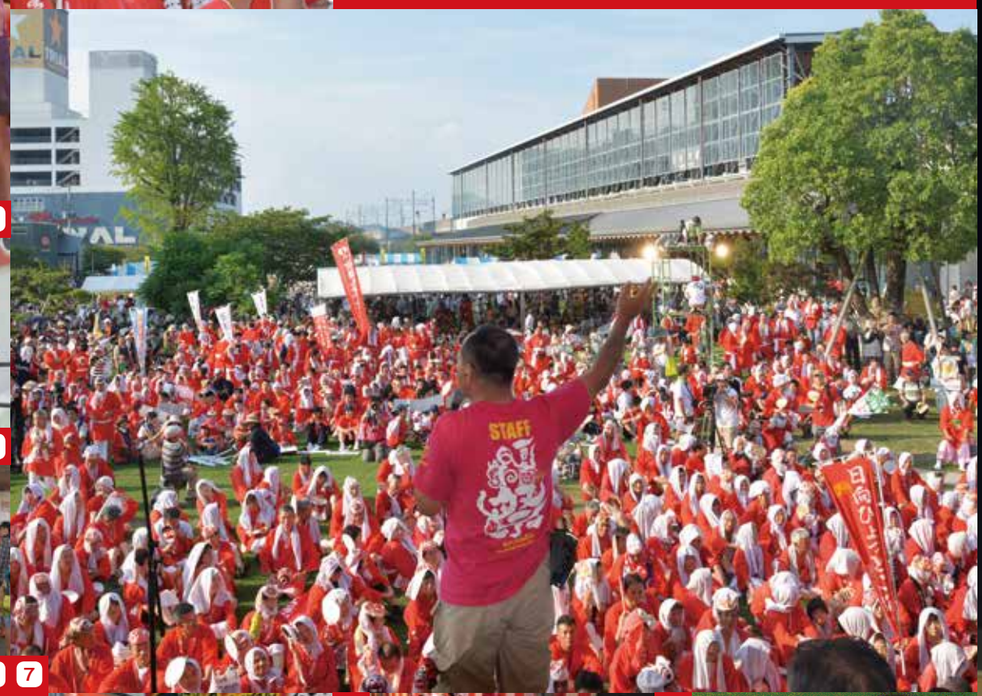
水難事故から2人を救助

市水難事故防止対策協議会は8月9日㈮、川口翔太(しょうた)さん(22歳・日知屋・写真右)、海野健史(けんし)さん(22歳・美々津・写真左)に、水難事故人命救助協力者として感謝状を贈りました。2人は6月19日㈬に伊勢ケ浜で発生した水難事故で、沖に流された小中学生5人のうち中学生2人を救助しました。黒木市長からは、その勇気ある行動への称賛と感謝の意が述べられました。

喜び、楽しみ、踊り、笑った。歓喜の2日間。

開催30回目を迎えた「日向ひょっとこ夏祭り」。今年は、過去最多の踊り手が全国各地から集結。3日㈯のメインパレードでは、北海道から鹿児島まで102連・1、911人の踊り手が、きつね、おかめ、ひょっとこの面を着けユーモラスにまちなかを踊り歩いた。笛や太鼓の軽快なリズムにのった個性的な踊りに、一緒に踊りだす観客もおり、まちじゅうが熱気と歓声に沸いた。踊り手も観客も一つになった2日間にカメラが追った。

①前夜祭の個人戦。踊り手の個性が光る。
②真剣なまなざしの審査員。
③お笑いコンビ「テンダラー」による爆笑ライブで会場が笑いの渦に。
④ひまわりレディも交じってのひょっとこ講習会。
⑤ひょっとこギャラリーでは、たくさんの人がひょっとこ夏祭りの歴史を振り返った。
⑥パレードに参加した北海道幕別町小学生の連。
⑦過去最多の1,911人の踊り手が日向市のまちを赤く染めた。
⑧⑨ひょっとこ大賞に選ばれた深瀬ひょっとこ同好会(広島県安芸高田市)。
⑩踊り子大賞に選ばれた工藤遥人(はると)さん(日向市)。
⑪受賞連に惜しみない拍手。
⑫観客・参加者動員数は、2日間で過去最多の約72,000人。



Kazuhide Takeshita

第30回日向ひょっとこ夏祭り
竹下　和秀 実行委員長

全国各地から集まってくれた踊り手の皆さん、また、日向市に踊りを見に来てくれて、祭りを盛り上げてくれた7万人を超えるお客さんに感謝します。そして、一生懸命頑張って祭りを支えてくれたスタッフのみんなに、ねぎらいの言葉と心からありがとうと言いたいです。

去年の祭りは途中で大雨が降り、熱気に水を差されましたが、それがあったからこそ、今年の盛り上がりがあったと思います。これからも祭りは続いていきます。来年も、祭りの基本である「ひょっとこ踊り」に磨きをかけていただき、笑顔でまたお会いしましょう！

子どもの言語発達
言葉が遅いときには…

1歳前に話し始める子どもがいる一方で、3歳近くになっても言葉が出ない子どももいます。

言葉の数がいくつ出ているかという「言える言葉」にとらわれがちですが、言語発達は、「わかるのが先で、言えるのは後」という法則があります。「言える言葉」は、氷山の一角で、水面下では9割の「わかること」があるといわれています。

赤ちゃんが「アー」と言うと、お母さんが「なあに」と答える乳児期の親とのかかわりこそが言語発達の基礎です。

赤ちゃんは、大人が選んで教えた言葉より、赤ちゃん自身が興味を持っているものに、親が共感して発した言葉をより理解するといいます。

子どもが言葉を話すには、まず体験や経験を通して分かる言葉を増やしていくことが大切です。乳児期からの親子の関わりや遊びが蓄積されてやがて「言える言葉」になるのです。そして、この時に基本となるのが、子どもの興味に親が共感する、いっしょに見る、触れる、味わうなどの「共同注意」です。こうした経験を重ね、子どもの言葉が育ちます。

公園や買い物に行く時は、ゆっくり歩いていきましょう。子どもが興味を持ったものに親が目を向け共感して「わんわんだね」「お花が咲いてるね」などと言葉をかけながら歩けば、物の名前や形容詞を知るきっかけになります。

また、身体を動かす遊びは、言葉の発達を促します。特に、揺れ、上下動、触覚、回転、加速度を伴う5つの遊びにおいては、体を動かして楽しく遊ぶことが子どもの感覚を刺激して脳を活発にします。子どもがうれしそうにしているか反応を見ながらいろいろ工夫してみましょう。

問こども課子育て支援係（内線☎2196）

図書館からのお知らせです

おすすめの本

●月の名前●

月の科学的情報がもたらされるようになった現在でも神秘性を保ち、賞美の対象でありつづけている月。美しい月の写真と、美しい日本の詩歌を織りまぜてつづる、月の名前400語。

高橋順子／文　デコ出版

●生きる力をはぐくむ学校防災●

危機管理時における学校でのリーダーシップ、津波に起因する河川逆流教材の開発、災害時の感染症対策…。東日本大震災を契機に、自然災害に関する学校での防災教育の在り方や取り組みについて再検討する。

学校防災研究プロジェクトチーム／著　協同出版

●がんばれ、おじいちゃん●

こうくんのおじいちゃんが入院した。お父さんが死んでからずっとこうくんの面倒をみてくれたおじいちゃん。こうくんはおじいちゃんをはげますためにすばらしいことを思いつき…。

西本鶏介／作　ポプラ社

ブックスタート展開中

ブックスタートとは、「赤ちゃんと本を通して楽しい時間を分かち合うこと」を応援する運動です。7か月児健診のときに、絵本や子育てアドバイス冊子などが入ったブックスタートパックを配布します。

～親子で「絵本の読み聞かせ」～ 9月のおはなし会

◉乳幼児向け（毎週木曜日）
5日、12日、19日、26日の午前10時30分から10時50分まで。

◉幼児向け（毎週水曜日）
4日、11日、18日、25日の午後3時30分から4時まで。

◉小学生向け（毎週土曜日）
7日　14日、21日、28日の午前11時から11時30分まで。

子ども映画上映会

◉9月8日㈰　午前10時30分～
「雀とキツツキと山鳩」
「こがねの斧」
「よっちゃんの不思議なクレヨン」
の3本。
合計上映時間は60分程度。

問市立図書館 ☎54・1919（春原町1-47）
URL http://www.lib.city.hyuga.miyazaki.jp
◉開館日および時間
火曜～金曜日＝午前9時～午後6時30分
土、日、祝日＝午前9時～午後5時
◉9月の休館
1日、2日、9日、16日、23日、30日

おもちゃ病院ひゅうが＋

◉日時　9月14日㈯、午後1時から4時（受付は3時まで）、さんぴあ会議室で。修理は無料ですが、部品・材料代は自己負担です。
問 ☎090・9607・3299（岸本）

認可外保育所（園）ってなあに？？

問こども課保育係（☎内線2164）

認可外保育所（園）とは、公的な認可を受けていない法人または個人が開設した保育施設のことで、一般的に無認可保育所（園）と呼ばれています。

認可は受けていませんが、県知事に運営を届け出て指導監査を受けています。

子どもを預けるには、保護者が直接施設に申し込み契約します。サービス内容や保育料はそれぞれ異なり、さまざまな保育ニーズに応えて保育の質とサービスの向上を図ろうと独自の運営がされています。急な用事などでの一時保育などにも対応できる施設もあります。

利用者の声 諏訪充樹（みき）さん、勇太（ゆうた）くん（亀崎東）
個性を大事にしてくれるので、保育園が大好きな息子。笑顔がたえない環境なので、預けていてとても安心です。
（梅の花保育園にて）

市内認可外保育施設

施設名（住所）電話番号は順不同です。

ひかり中央保育園（北町1－60）	☎53・7568
梅の花保育園（竹島町1－9）	☎52・5800
永山託児所（浜町3－18）	☎52・2359
田の原保育園（美々津5744）	☎58・1047

市内認可外保育施設（夜間）

ちゃいるどるーむキララ（向江町1－19）	☎54・3127

※午後6時以降
詳しくは、それぞれの保育所（園）に直接問い合わせてください。

広域連携による
小児科医の日曜・祝日などの在宅当番医

9月1日（第1日曜日）	桜ヶ丘ファミリークリニック（延岡市夏田町414－1）	☎0982・28・2280
9月8日（第2日曜日）	又木小児科医院（延岡市平原町1－839）	☎0982・34・3551
9月15日（第3日曜日）	赤須内科小児科医院（延岡市桜園町128）	☎0982・21・2155
9月16日（敬老の日）	田原病院（延岡市伊達町2－62）	☎0982・32・4987
9月22日（第4日曜日）	藤本内科小児科医院（延岡市日の出町1－21－1）	☎0982・34・6195
9月23日（秋分の日）	大王谷こどもクリニック（日向市亀崎西2－155－1）	☎0982・50・2000
9月29日（第5日曜日）	おきしま小児科（延岡市大貫町4－1338－1）	☎0982・33・0222

小児科の診療時間は、午前9時から午後6時までです。
当番医は変更になる場合もあるので、受診前に電話で確認してください。

日向市初期救急診療所
日向市北町2丁目10番地

平日の夜間、急な病気やケガの治療が必要な人のための診療所です。診療対象は小学生以上ですが、小学生の場合は受診する前に電話（☎50・1000）してください。

◉診療時間　平日の夜間、午後7時30分から午後9時30分まで（受付＝午後7時15分から）
◉診 療 科　内科・外科

延岡市夜間急病センター
延岡市出北6-1621（延岡市医師会病院となり）

小児の夜間の急な病気やケガに対して、延岡・日向地区の小児科医が協力して、治療にあたります。

◉診療時間　午後7時30分から午後11時まで
◉診 療 科　小児科（毎日）☎0982・21・9999

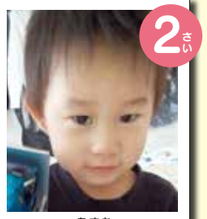
✉で読者投稿コーナー Happy Birthday 誕生日おめでとう

携帯電話で撮影した写真を、右のQRコードでらくらく送信。誕生日の記念に、お子さんのかわいい写真を投稿してみませんか？
◉掲載対象＝今月1・2・3歳の誕生日を迎えた乳幼児。◉投稿方法＝Eメール（携帯含む）。子どもの氏名（ふりがな）・住所・年齢、保護者の連絡先、および30文字程度のコメント（絵文字は表示できないものがあります）を記載して、撮影した写真を添付して送信してください。※投稿多数により、掲載できない場合もあります。◉送信宛先 E-MAIL public@hyugacity.jp 問総務課秘書広報係（内線☎2235）

1さい
中田 旺佑（おうすけ）ちゃん（1さい・塩見）
HappyBirthday ☆甘えん坊の旺ちゃん！沢山食べて元気に大きくなーれ♪

1さい
河内 陽仁（はるひと）ちゃん（1さい・亀崎）
はるくんの笑顔は元気の源。すくすくと大きくなってね。

1さい
杉岡 亜紀（あき）ちゃん（1さい・鶴町）
キレのあるお尻ダンスが可愛くてたまらないよ！幸せをありがとう♪



2さい
新名 碧澄（あすむ）ちゃん（2さい・亀崎）
優しくて甘えん坊でしっかり者！本当に毎日幸せをありがとう。

2さい
宇田津 芽依（めい）ちゃん（2さい・富高）
食いしん坊で歌が上手なめい、これからもそのまま大きくなってね。

健康一番

健康的な生活習慣を確立するために 9月は「健康増進普及月間」です

平均寿命の著しい伸びがみられるなか、人口の高齢化や急激な生活環境の変化に伴って、糖尿病やがん、心臓病、脳卒中などに代表される生活習慣病の増加が大きな問題となっています。

このような状況下で、疾病の早期発見・治療にとどまることなく、生活習慣を改善して健康を増進することで、疾病を予防する「一次予防」に重点をおいた対策を強力に推進し、壮年期死亡の減少および認知症もしくは寝たきりにならないよう「健康寿命」の延伸を図ることが極めて重要となっています。

また、生活習慣病は日常生活のあり方と深く関連していることから、一人ひとりの健康の保持・増進を図るためには、運動習慣の定着や食生活の改善といった健康的な生活習慣の確立が重要です。

このため、生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性について、それぞれが理解を深め、さらに健康づくりの実践を促進するため、9月1日から30日までの1か月間を健康増進普及月間として、毎年さまざまな啓発活動を実施しています。

◉統一標語
1に運動　2に食事
しっかり禁煙　最後にクスリ
～健康寿命をのばそう～

健康を保つことは、毎日の正しい生活習慣の積み重ねが重要です。健診を受けて自分自身のからだを知り、自分に合った健康づくりの方法を考えてみましょう。

”自分の健康は自分で守る“という気持ちが大切です。

問いきいき健康課健康づくり係（☎内線2111）

「第18回 健康まつり」

日時：9月8日（日）午前9時から
場所：市中央公民館・文化交流センター

「まず健（検）診！　今からはじめる健康づくり」
～笑顔と食と運動と～

健康相談コーナーをはじめ、子どもから高齢者まで楽しみながら健康について考える内容です。皆さんの参加をお待ちしています。

health

地球共生

日豊海岸国定公園は指定40周年 みんなで守ろう美しい自然と景観

昭和49（1974）年2月15日に、耳川河口（権現崎）より大分県佐賀関町に至る延長約120キロにおよぶ海岸線が日豊海岸国定公園に指定されました。

この中で、日向市内の指定地域は、昭和38（1963）年に指定された「日向海岸県立公園」が一部を除いて繰り入れられました。

指定当時の記事が、日向市ホームページ「広報ひゅうが デジタルアーカイブ」の、昭和49年2月号（表紙）と昭和38年4月号（4頁）に取り上げられていて、当時の様子をうかがい知ることができます。約半世紀も前から市民のみなさんの手で守り続けている自然のすばらしさを再認識することができますので、ぜひご覧ください。

また、国定公園内では、美しい自然と景観を守るため、自然公園法に基づき各種の行為が規制されています。開発行為などを行う場合は、法に基づく申請、あるいは届出などが必要となりますので注意してください。

申請・届出が必要な主な行為

- 工作物の新築・改築・増築（建築物・その他工作物）
- 木竹の伐採
- 土石の採取
- 広告物の設置
- 屋外における物の集積・貯蔵
- 土地の形状変更
- 屋根、壁面などの色彩変更

※他にも規制される行為がありますので、必ず事前に問い合せてください。

すばらしい自然を後世に残していくために、自然環境と景観の保全に市民の皆さんのご協力をお願いします。

問環境整備課環境公害係
☎53・2256

▲昭和38年頃のお倉ヶ浜の白砂青松（はくしょうせいしょう）の写真

ecology

伝統文化

現在55人の団員が活動中 日向市民吹奏楽団を紹介します

吹奏楽は、フルートやクラリネットなどの木管楽器と、ホルンやトランペットなどの金管楽器を主体に演奏される音楽です。どちらも管楽器の仲間ですが、唇の振動によって音を出すものが金管楽器で、それ以外の管楽器が木管楽器と区分されています。

今回は、市内の演奏会や各種イベントで吹奏楽の演奏を行っている「日向市民吹奏楽団」を紹介します。

日向市民吹奏楽団は昭和52年に結成され、市内の社会人を中心に現在55人の団員が在籍しています。毎週土曜日の午後7時から10時まで、主に東郷地区文化センターで練習しています。

団員にはそれぞれ担当する楽器があります。木管楽器には、ピッコロ、フルート、クラリネット、サックス、ファゴット、オーボエの演奏者がいて、金管楽器には、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバの演奏者がいます。それにバスドラムやティンパニーといった打楽器が加わって演奏しています。

吹奏楽コンクールにも出場し、県大会では平成14年度から4年連続で金賞を受賞し、九州大会に宮崎県代表として出場。平成22年度にも九州大会に出場し、銀賞を受賞しています。

また、来年1月26日には35回目を迎える定期演奏会が、市文化交流センターで開催されます。これは年に一度開催されていて、クラシックから歌謡曲まで幅広いジャンルの曲が演奏されます。演奏に合わせて団員によるダンスも披露され、子どもから大人まで楽しめる演奏会となっています。

吹奏楽を通して地域の活性化に貢献している日向市民吹奏楽団の演奏をぜひご鑑賞ください。

問文化スポーツ課文化財・文化振興係（☎内線6231）

日向市民吹奏楽団では団員を募集しています。初心者・経験者問いませんので、お気軽に見学に来てください。
楽団ホームページ http://homepage3.nifty.com/hyuga-csb/

道駅食楽

地元生産者の愛情がたっぷり 安心安全で、おいしい新米はいかが

今年も道の駅ひゅうがに地元生産者の愛情こもった安心安全でおいしい「新米」が入荷しました。おいしい新米を食べて、夏バテで疲れた体に元気を取り戻しましょう。

道の駅ひゅうが ☎56・3809

レストラン「潮音」限定メニュー「お月見御膳」 1,250円

日向サンパーク「9月のイベント情報」

◉**お舟出の湯 営業時間**　午前10時から午後10時まで。
◉**9月の休館日**　2日(月)　17日(火)
◉**定期寄席**　9月14日(土)、午後1時から
◉敬老の日　9月16日(月) 70歳以上は200円
◉レストラン「潮音」　限定メニュー「お月見御膳」をぜひ味わってみてください。

日向サンパーク温泉お舟出の湯 ☎56・3800

「お舟出 とくトクカレンダー」

市ホームページからも簡単アクセス！
http://ww2.wainet.ne.jp/~sunpark/kongetu.jpg
☜携帯電話からはQRコードで！

道の駅 とうごう「9月のイベント情報」

ふるさと市場
新鮮夏野菜・菌床椎茸・果実などが入荷中。
◉**日時**　毎週水曜日と、土・日・祝日。午前8時から午後5時まで。
ふるさと味工房　そば打ちや、とうふづくりなどが体験できます。要予約 ☎68・3070
物産センター詩季彩　レストラン人気メニューは、牧水そば。奥日向路のお土産品など多数品ぞろえ。
東郷町ふるさと公社 ☎68・3072
◉**営業時間**　午前8時30分から午後6時まで。
牧水公園　コテージ・テニスコートを利用しませんか？
◉**営業時間**　午前8時30分から午後5時まで。
牧水公園ふるさとの家　☎69・7720

ふるさと市場に新生姜とへべすが入荷しています。生姜は佃煮、ぬか漬けにしてご飯のお供に、へべすは焼き魚や焼酎などの風味づけに最高です。今が旬のこの時期に、ぜひ一度ご賞味ください。

◉ふるさと市場
☎68・3070
FAX68・3073

food

下水道への接続促進 9月10日㈫は「下水道の日」

「下水道　水が笑顔に　なれる道」9月10日㈫は「下水道の日」、全国下水道促進デーです。下水道は、快適で衛生的な生活を営むために必要な施設です。川や海の汚れを防ぎ、浸水からまちを守るなどの大きな役割りを果たしています。

◉接続はお早めに。下水道が整備されても、各家庭から出る汚水が下水道管に接続されていなければ、下水道の本来の目的が果たせません。

◉下水道接続工事は、指定工事店で。下水道への接続工事は、市の指定する業者でなければ工事できません。

◉日ごろから正しい利用を。下水道に、汚水以外の異物を流すと、排水管が詰まったり、処理場の機能が低下したりします。次のことに注意して、下水道を大切に使いましょう。

①台所では、野菜くずやご飯の残り、また、天ぷら油などの油脂類は絶対に流さないでください。

②水洗トイレでは、トイレットペーパー以外のもの(ティッシュペーパーなど)は流さないでください。

③灯油・ガソリンなどの引火性危険物は流さないでください。

問下水道課業務係　☎54・4175

市戦没者追悼式 10月12日㈯

戦没者のご冥福を祈るとともに、戦争を風化させず、平和の大切さを後世に伝えていきます。たくさんの市民の皆さんの参加をお願いします。

◉開催日　10月12日㈯

◉時間　午前10時から11時まで

◉場所　市中央公民館

問福祉課福祉政策係(☎内線2162)

募　集
Recruit

平成26年日向市「成人式」実行委員を募集

市は、来年1月12日㈰に市文化交流センターで開催する「成人式」の実行委員を募集しています。

◉業務内容　成人式の企画および当日の運営

◉対象者　高校生以上で、式典の企画運営に意欲があり、会議に継続して出席できる人。新成人者でなくても可。

◉募集人数　10人程度

◉会議日時　9月から来年1月まで毎月1回程度、平日の19時から21時

※第1回実行委員会は9月下旬を予定。

◉会議場所　市中央公民館

◉広募方法　生涯学習係へメールまたは電話で申込み。

◉応募締切　9月20日㈮まで。

※会議の日時・場所は変更になることがあります。

問申生涯学習課生涯学習係☎54・1233
E-MAIL syougaigakusyu @hyugacity. jp

市職員採用試験 申し込みは9月20日㈮まで

◉採用予定職種　一般事務(4人程度)、土木技術Ⅰ・Ⅱ(3人程度)、建築技術(1人程度)、保育士(3人程度)、保健師(1人程度)、消防(1人程度)

◉受験資格　▶一般事務＝昭和61年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業程度の学力を有する人　▶土木技術Ⅰ＝昭和61年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業程度の学力及び土木の専門学力を有する人　▶土木技術Ⅱ＝昭和49年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業程度の学力及び土木の専門学力を有し、民間企業等における職務経験年数を通算して5年以上有する人　▶建築技術＝昭和56年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業程度の学力を有し、建築の専門学力を有する人　▶保育士＝昭和61年4月2日以降に生まれた人で、保育士および幼稚園教諭の資格をいずれも有する人、または平成26年3月31日までに資格取得見込みの人　▶保健師＝昭和61年4月2日以降に生まれた人で、保健師の資格を有する人、または平成26年3月31日までに資格取得の見込みの人　▶消防＝①昭和61年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業程度の学力を有する人②視力が両眼で0.7以上、かつ一眼でそれぞれ0.3以上(いずれも矯正視力含む)で色覚に強度異常がなく、聴力が正常で消防業務に耐えうる体力を有する人③日向市、門川町に居住できる人

◉第1次試験　会場＝市立富島中学校

◉日時　10月20日㈰、午前8時30分から。

◉試験科目　▶一般事務＝一般教養　▶土木技術Ⅰ・Ⅱ・建築技術・保育士・保健師＝一般教養、専門　▶消防＝一般教養、体力

◉受験申込書の交付・請求　日向市役所職員課、東郷総合支所および各支所で交付。郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記の返信用封用(30㌢×21.5㌢以上)を同封すること。なお、土木技術Ⅱの受験者は、申込書と併せて指定様式の履歴書の提出が必要。郵便で請求する場合は、封筒の表に「土木技術Ⅱ受験希望」と明記すること。

◉受付締切　9月20日㈮まで。受付は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで。郵送する場合は、9月20日㈮の消印まで有効。封筒の表に「採用試験申込」と朱書きすること。

※詳細は、市ホームページ又は「日向市職員採用試験案内」をご欄下さい。

問申職員課人事係(☎内線2272)

介護認定調査員を募集 申し込みは9月30日㈪まで

市は介護認定調査員を次のとおり募集します。

◉業務内容　介護保険事業に係る要介護等認定申請者の自宅や介護保険施設などを訪問し、認定審査に必要な心身の状況などの調査業務。

◉採用期間　平成25年11月1日から平成26年3月31日まで(再任可)

◉勤務時間　月曜から金曜日までの午前9時から午後4時まで(ただし、祝日は除く)

◉報酬　基本月額180,000円(別途調査旅費加算あり)

◉福利厚生　健康保険、厚生年金及び雇用保険加入

◉募集人員　若干名

◉応募資格　次の要件をすべて満たしている人。①看護師、准看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士などの保健・医療・福祉の専門的な資格および1年以上の実務経験を有する人、または介護支援専門員の資格を有する人。②普通自動車の免許を有し、調査に使用できる自家用車を有している人。

◉募集期間　9月9日㈪から9月30日㈪まで。

◉応募方法　市販の履歴書(上半身の写真添付)および資格を証するものの写しを持参。郵送は不可。

◉選考方法　1次選考＝書類審査(合格者のみ2次選考日時を通知)。2次選考＝面接

問申高齢者あんしん課介護保険係(☎内線2193)

ミニバレーボール大会 参加チーム募集

市スポーツ推進委員協議会は、次のとおりミニバレーボール大会の参加チームを募集します。

◉部門

・男女混成　39歳以下、40歳以上の部

・レディース　39歳以下、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上の部

◉開催日　10月14日㈪

◉時間　午前8時30分開会

◉場所　サンドーム日向

◉参加料　無料

◉チーム条件　メンバーは市内在住で、18歳以上(高校生不可)。男女混成は男性は2人以内。傷害保険に加入していること。

◉監督会議　10月10日㈭　午後7時30分　サンドーム日向会議室にて。

◉申込方法　所定の申込用紙を提出(ファクシミリまたは電子メール可)。

◉申込締切　9月27日㈮

問申文化スポーツ課スポーツ振興係
☎53・4791　FAX56・0018
E-MAIL bunka@hyugacity.jp

ドッヂビー・スポーツチャンバラ教室参加者(小学生)募集

ドッヂビーとスポーツチャンバラ教室に参加する小学生を募集します。ドッヂビーは布製のフライングディスクを使うドッジボール、スポーツチャンバラはチャンバラをルール化したニュースポーツです。

◉日時　10月11日㈮から11月1日㈮の毎週金曜(全4回)　午後7時30分から9時30分

◉会場　市体育センター

◉定員　小学生30人

◉申込　9月30日㈪まで。

◉持参するもの　体育館用シューズ、タオル(防具用・汗拭き用)、飲み物

◉参加料　無料

◉申込方法　電話、ファクシミリまたは電子メールで。詳細は問い合わせを。

問申文化スポーツ課スポーツ振興係
☎53・4791　FAX56・0018
E-MAIL bunka@hyugacity.jp

「日向はまぐり碁石まつり」参加申込10月4日㈮まで

市は、囲碁文化の普及と継承並びに碁石産業の活性化を目的に、「はまぐり碁石まつり」として囲碁大会を行っています。すべての対局で「はまぐり碁石」と「日向榧(かや)碁盤」を使用し、石の素晴らしさなどを全国の囲碁愛好家の皆さんに味わってもらいます。

第25回となる今大会では、特別ゲストに、日本棋院のプロ棋士、片岡聡(さとし)・九段、園田泰隆(やすたか)・九段、巻幡多栄子(まきはたたえこ)・三段が参加予定です。

また、囲碁大会前日にはプロ棋士と交流できる前夜祭も開催されます。

◉日時　10月27日㈰　午前9時開会

◉場所　市文化交流センター

◉参加費　2,800円(小学生以下は1,500円)

◉申込方法　10月4日㈮までに、専用の参加申込書兼払込取扱票を使用するか、直接事務局に申し込んでください。

問申大会実行委員会事務局　商工港湾課商工振興係内(☎内線2636)

問は問い合わせ先、申は申請、または申し込み先の略です。

ひゅうが
くらしの情報
INFORMATION

お知らせ Info

9月11日㈬全国一斉の緊急情報伝達訓練を実施

災害時に国からの緊急情報が、市の同報系防災行政無線で放送されることを確認するための、全国一斉緊急情報伝達訓練が実施されます。

これは避難行動を行うものではありませんので、間違いのないようお願いします。

◉実施日　9月11日㈬

◉放送内容　「これは、試験放送です。」を3回発し、「こちらは日向市役所です。」の後にチャイムが鳴ります。

当日は、午前11時と午前11時30分の2回、放送が流れます。

問防災推進課防災推進係
(☎内線2222)

オータムジャンボ宝くじ 9月20日㈮発売開始

新市町村振興「オータムジャンボ宝くじ」は、1等・前後賞合わせて3億9千万円。9月20日㈮発売で、売り切れ次第、販売終了です。

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。地域振興のために地元で購入しましょう。

ぷらっとバス 運行ダイヤを改正

ぷらっとバスの運行時刻表(ダイヤ)が9月30日㈪に変更されます。

主な変更内容は、始発時刻が5分遅くなり、午前7時10分から7時15分となります。また、バス停の名称を地区名から、近くの店舗名などに変更します。改正後の時刻表は、9月下旬の新聞折込み、または市ホームページで確認してください。

変更後の名称は次のとおりです。

◉南1・松原→マルイチ財光寺店前

◉南2・サウスタウン日向→ホームワイド財光寺店前

◉北1・職業安定所前→やまうち泌尿器科内科前

◉北2・メルクス南口→ミスターマックス日向ショッピングセンター

問企画情報課広域連携推進係
(☎内線2213)

日向地区調停協会の無料調停相談会10月8日㈫

日向地区調停協会が開く、無料調停相談会。夫婦関係、遺産分割、養育費、親権、多重債務、個人間のトラブルなどで悩みを抱えている人、解決の方法を一緒に考えましょう。

裁判所での調停の手続きについても詳しく説明します。相談は無料、秘密は厳守します。

◉日時　10月8日㈫、午前9時30分から午後4時まで。

◉場所　市中央公民館

問日向地区調停協会(高森)
☎53・3903

住宅・土地統計調査にご協力ください

10月1日、全国一斉に「住宅・土地統計調査」が実施されます。

住んでいる住宅や土地、世帯の状況などを調査し、調査結果は住宅に関するさまざまな計画などに活用されます。5年に1度実施され、市内の約2,500世帯が調査の対象です。

調査対象となった世帯には、9月下旬ごろに調査員が調査票を配付します。記入した調査票は調査員に手渡すか、インターネットで回答することもできます。調査への協力をお願いします。

問企画情報課統計係(☎内線2334)

第25回日向市児童美術展覧会を開催

市内の児童、生徒が1学期から2学期にかけて制作した絵画、書、写真の作品を展示します。たくさんの市民の皆さんの来場をお待ちしています。入場は無料です。

◉場所　市中央公民館2階　第1研修室から第4研修室

◉期間　10月5日㈯から6日㈰、午前9時から午後5時まで。

問文化スポーツ課文化財・文化振興係
(☎内線6232)

上・下水道料金等の口座振替のご案内(水道課)

日向市水道局では上・下水道料金などの支払いについて、便利な口座振替を推進しています。

水道局水道課、各支所および市内の金融機関の窓口で手続きができますので、ぜひご活用ください。

◉口座振替日　毎月25日

振替日に振替ができなかった場合は、翌月の13日に再振替します。

※手続きには、口座の届け印が必要です。振替(再振替)当日が土・日・祝祭日になる場合は、金融機関の翌営業日になります。

問水道局水道課営業係
☎52・5228

問は問い合わせ先、申は申請、または申し込み先の略です。

くらしの相談日
まずは気軽に相談してください。

人権相談
◉9月20日㈮、午前10時から午後3時まで、日知屋公民館。市民課市民相談係(☎内線2140)

行政相談
◉9月18日㈬、午前10時から午後3時まで、社会福祉協議会東郷支所で。
◉9月20日㈮、午前10時から午後3時まで、日知屋公民館で。
◉毎月第2、第3金曜日、午前9時30分から正午まで、市文化交流センター内男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんぴあ」でも受付中。☎55・1660

法律相談(☎要予約)
◉9月19日㈭、午前10時から午後3時まで、市中央公民館で。市民課市民相談係(☎内線2140)へ事前予約が必要。司法書士会日向支部や、宮崎県弁護士会が開く相談会もあります。詳細は問い合わせを。

障がい者・難病者相談
◉毎週土曜日、午前10時から正午まで、JR日向市駅西口そば市障がい者センター「あいとぴあ」で。☎52・5434

介護保険の説明会
◉9月17日㈫、午前10時から11時まで、市健康管理センターで。

女性相談
電話または面接相談。月、火、木、金曜日の午後1時から4時まで、「さんぴあ」で。☎55・1660

出張年金相談(完全予約制)
◉9月26日㈭、午前10時から午後3時まで、市中央公民館で。市民課国民年金係(☎内線2132)、または延岡年金事務所☎0982・21・5424へ事前予約を。相談者は年金手帳を持参してください。

こころの健康相談(☎要予約)
ひとりで悩まず、まずは誰かに相談してみませんか?精神の病気、こころの健康に関して、精神科医と保健師が対応します。
◉9月17日㈫、午後1時から午後3時30分まで、日向保健所で。☎52・5101へ事前予約を。

中小企業の無料経営相談会
市内のがんばる中小企業を応援。(公財)宮崎県産業振興機構の専門員が経営をアドバイス。
◉9月9日㈪、午前10時から午後3時まで、日向地区中小企業技能センターで。相談は無料です。商工港湾課商工振興係(☎内線2636)へ事前予約を。

119 Call

9月9日は「救急の日」です

限りある救急車。本当に必要としている人のために、「救えるはずの命」を救うために、救急車の適正利用にご協力ください。しかし、「突然うまく話せなくなる」「胸が圧迫されるように痛む」「意識がない」「突然の激しい頭痛」などの場合は、迷わず119番通報して救急車の要請をしてください。

問日向市消防本部 ☎52・2840

7月中の出動件数

救急	火災	救助
289	6	5

地域安全掲示板

店舗・事務所荒らしが続発!

日向警察署管内で店や事務所での盗難事件が相次いでいます。今年7月末現在で20件。夜間に、鍵がかかっていないドアや、裏口などの窓ガラスを割って鍵を開けて侵入しています。発生の防止策としては、施錠の確認や、現金や貴重品を置かないなど。不審な動きをする者や、被害に気付いたらすぐに日向警察署へ☎53・0110

7月中の交通事故件数

人身	物損	( )内は対前年比
80(+34)	125(-4)	

納税は納期内に!

9月の納税

固定資産税	3期
国民健康保険税	4期

納付期限　9月30日㈪
口座振替　9月25日㈬

税目	9月	10月	11月
市県民税		3期	
固定資産税	3期		
国民健康保険税	4期	5期	6期
介護保険料1号	4期	5期	6期
後期高齢者医療保険料	3期	4期	5期

くらしのはてな?にやさしく答えます

Q. 免除されていた国民年金保険料を納めたいんですが…

A. 国民年金(基礎年金)には、免除や猶予をうけていた国民年金保険料を、過去10年前までさかのぼって納付することができる「追納制度」があります。

全額免除や一部免除の場合は、免除の割合に応じて年金額に反映されますが、「若年者納付猶予制度」と「学生納付特例制度」は、年金額に反映されません。免除や猶予をうけた後、経済的に余裕ができたときは、追納制度を利用すると、将来うけとる老齢基礎年金が満額に近づきます。ただし、3年度以上前の保険料を追納するときは、経過した期間に応じて加算額が上乗せされます。より古い保険料から納付することとなるので、早めの追納をお勧めします。

保険料を追納する場合は、納付書が必要です。納付書は住所地を登録している年金事務所で発行されます。

問市民課国民年金係(☎内線2132)

from Editor`s room 編集後記

▶今年の夏は日本各地で最高気温を更新したようです。自分の実感としては暑さは例年並みぐらいかなと思いますが、あきらかに雨が少ない。庭木や家庭菜園はカラカラで水やりがたいへんです。恵みの雨を待っています。(黒木)

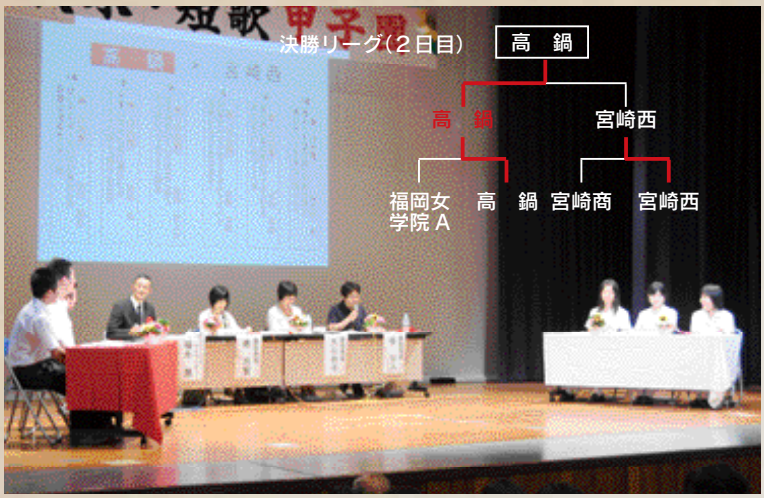
▶今年で30回目をむかえた日向ひょっとこ夏祭り。1歳になるうちの娘も、赤の法被を着せ音楽を流すと、笑顔で踊りだします。こんな小さな子でも笑顔にさせる。ひょっとこの魅力ここにあり、と改めて実感しました。(林田)

広報 ひゅうが 2013.9
No.700
平成25年9月1日発行

市民が奏(かな)でる“交響”空間
優しく 強く 温かい 人とまち
日向市

熱戦

第3回牧水・短歌甲子園
高鍋高校が初優勝



第3回牧水・短歌甲子園が、8月17日、18日の2日間、市中央公民館で開催されました。今回は、予選を勝ち抜いた11校12チームが出場し、短歌に込めた思いを熱くぶつけ合いました。激戦を勝ち抜き優勝旗を手にしたのは、高鍋高等学校の皆さんです。(写真＝中段左)

▼優　勝　高鍋高校
　準優勝　宮崎西高校
　また、来場者による投票で決定された『牧水賞』、『若山牧水記念文学館長賞』の受賞者と短歌は次のとおりです。

▼牧水賞
　佐藤美晴さん(宮崎西高校2年)
　「やるせない」「つらい」「せつない」
　放課後の類語辞典に私を探す

▼若山牧水記念文学館長賞
　川崎瑞季さん(宮崎大宮高校3年)
　砂漠にも夜が来ていた水を抱き
　立ちつくしているサボテンがいる

問文化スポーツ課若山牧水係
(☎内線6232)

人のうごき 平成25年8月1日現在

人　口	62,217 人	(	+25)
男	29,482 人	(	+15)
女	32,735 人	(	+10)
世帯数	25,186 世帯	(	+21)

※数値は、平成22年国勢調査をもとに算出した推計人口(現住人口)。外国人登録者を含む。( )内は、対前月比。

7月中異動	転入	転出	出生	死亡
単位：人	165	132	47	55

表紙のよこ顔

牧水公園で7月28日(日)に第20回牧水の里ふれあいこどもうなぎつかみどり大会が開催されました。ふるさとの家を流れる小川と、子ども用プールに、うなぎやあゆが放たれると大きな歓声が上がり、夢中になって魚を追いかけていました。子ども達には夏のいい思い出になったようです。

粉河寺遍路(こかはでらへんろ)の衆のうち鳴らす
鉦々(かねがね)きこゆ秋の樹の間に

牧水

〔今月の歌の意味〕
和歌山県の粉河寺は、お遍路さんたちの鳴らす鉦(かね)の音が聞こえてくる。秋の樹々の間に。

〔歌の鑑賞〕
大学4年の夏休みを終えて上京することになった牧水は、途中で大阪、和歌山、奈良などに遊んでいる。これはその和歌山での作。遍路とは霊場を巡拝(じゅんぱい)してまわる人々である。「けふもまたこころの鉦をうち鳴しうち鳴しつつあくがれて行く」と歌っている牧水だ。同じく旅人であるお遍路さんたちに親しい気持ちを抱いたはずである。

伊藤一彦(若山牧水記念文学館長)著
牧水かるた百首鑑賞「命の砕片」より

日向市ホームページ
http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/

編集・発行／日向市役所総務部総務課
〒883-8555 宮崎県日向市本町10番5号
☎0982・52・2111(代)
E-mail public@hyugacity.jp

印刷／藤屋印刷株式会社
環境にやさしい植物油インキ、古紙を使った再生紙を使用しています。
VEGETABLE OIL INK